

自然と歴史を楽しむ道しるべ！

常陸小田城跡 フットパス

筑波山麓 小田駐車場

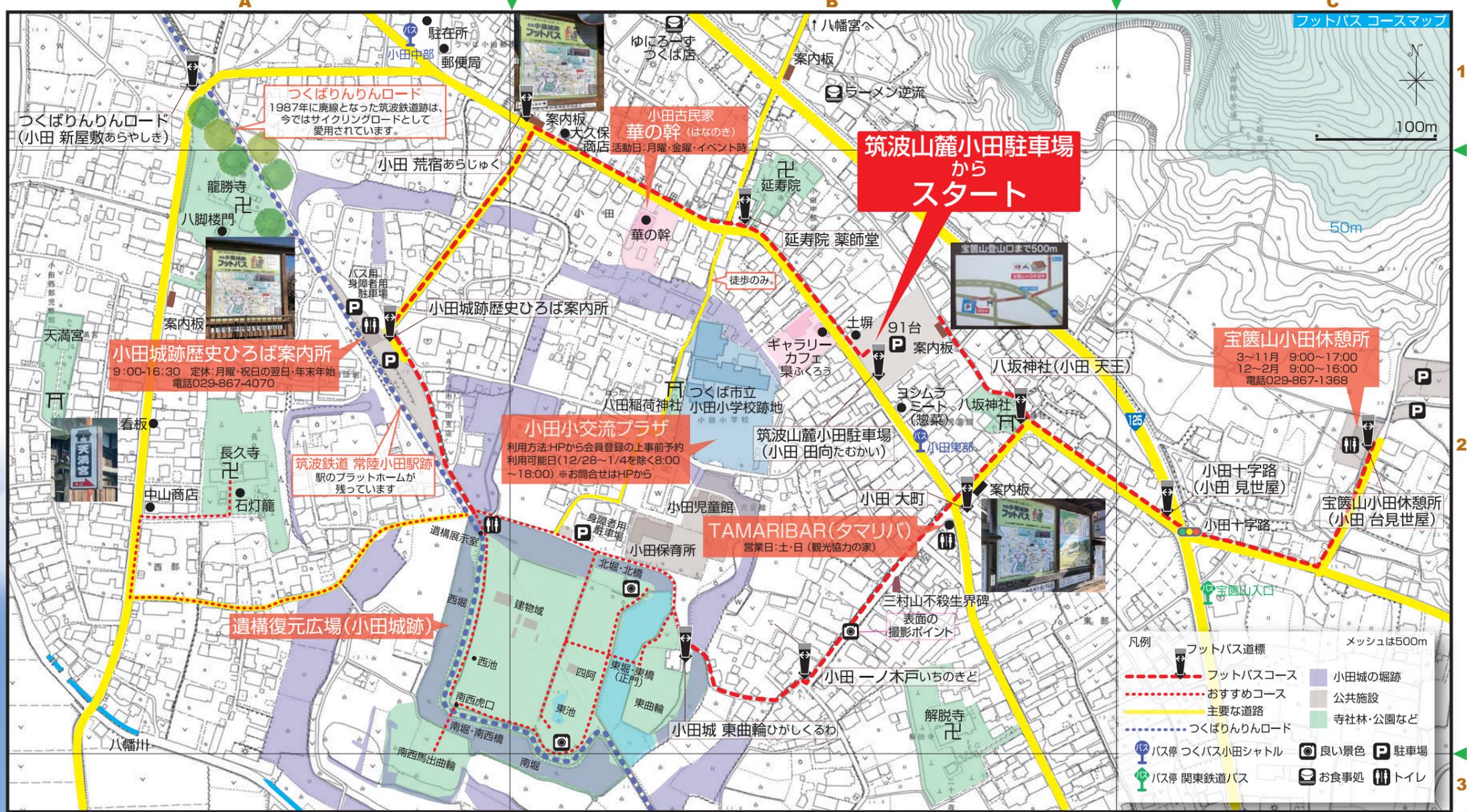
おだじょうあと

～小田城跡歴史ひろば

ほうきょうさん

～宝篋山小田休憩所

約2km



宝篋山のふもとの四季と
中世の城跡をめぐる
小道 Foot Path

小田城跡歴史ひろば案内所 600m
小田城跡フットパス

ほうきょうさん
宝篋山の麓には、
鎌倉・室町・戦国時代に
常陸南部を治めた小田氏の
居城「小田城」がありました。
幾重もの堀と土塁に囲まれた
曲輪(くるわ)跡。
この地に栄えた仏教文化を
物語る史跡の数々。
ぜひ歩いて
自然と歴史を楽しんでください。



小田城跡歴史ひろば案内所 A2
国指定史跡 小田城跡歴史ひろば案内所 A2
小田氏十五代の歴史がわかります。

小田古民家 華の幹 (はなのき) B2
築百年を超える伝
統工法の母屋を、
NPO法人華の幹が
修復し、展示やイベ
ントの会場として活
用しています。しつ
かりとした建材や巧
み活かされた古
民家も見ものです。

延寿院薬師堂 B2
本尊の薬師如来は、小田氏の寄進
で室町時代の作。北側には戦国時
代の石造五輪塔(県指定文化財)も
あります。明治時代に
廃寺になりましたが、
その後、旧小田村の
役場にもなりました。

スタート 小田城跡フットパス
筑波山麓小田駐車場
(市営・無料) B2
ゆつくり小田城跡めぐり
をされる方は、ここから
スタート。駐車
場の入口の左端に
は、幕末の農政
学者で小田出身
の長島尉信(やす
のぶ)旧宅から復
元された土塀が
あります。

遺構復元広場(小田城跡) A2
国指定史跡 小田城跡歴史ひろば
小田城跡歴史ひろば
本丸周辺を
歴史ひろば
として開闢。
堀・土塁・
建物跡のほ
かに、復元さ
れた園池や
関東の名家
「八屋形」の
1つであ
る小田氏の
家が偲ば
れます。

大町 B2
小田城跡の東側の幅広い
通りは「大町」と呼ばれて
います。通りの南端は土
浦への街道と、城の東虎口
(正門)へ続く細道に分か
れます。細道は攻略に備え
るためといわれています。

八坂神社 B2
廃城後に農村になった村
の氏神社として、江戸初
めに創建。境内には極楽
寺由来の古碑
や不殺生界碑
もありません。
7月中旬には
毎年、小田祇
園祭が行われ
ます。

宝篋山小田休憩所 C2
宝篋山の登山
道を整備して
きたNPO法
会小田地域振
興協議会の拠
点と、登山者
のための案内
所・休憩所と
して

小田に点在する 極楽寺の 石造美術品

宝篋山の麓には、鎌倉時代の初期に「三村山清冷院極楽寺」があったとされています。その後、寺院は衰退し、今は名残として文字瓦の破片や瓦窯跡などが掘り出されています。かつて極楽寺にあった石造美術品の幾つかは、集落内の各所に移され、今でも見ることが出来ます。これらは、奈良の西大寺の石工たちの影響を受けたものが多く、また、筑波山特有の硬い花崗岩を加工した技術の高いもので、全国的にも珍しい作品ですので、ぜひご覧ください。

宝篋山の麓には、鎌倉時代の初期に「三村山清冷院極楽寺」があったとされています。その後、寺院は衰退し、今は名残として文字瓦の破片や瓦窯跡などが掘り出されています。かつて極楽寺にあった石造美術品の幾つかは、集落内の各所に移され、今でも見ることが出来ます。これらは、奈良の西大寺の石工たちの影響を受けたものが多く、また、筑波山特有の硬い花崗岩を加工した技術の高いもので、全国的にも珍しい作品ですので、ぜひご覧ください。



「湯地藏」とも呼ばれて、今も崇拜されています。

◆**大師堂**たいしどう C1
前山の中腹には、八十八体の弘法大師の石像と御堂があります。すべての像を拜んでまわると、四国八十八ヶ所霊場を巡拝したのと同じ御利益があるといわれています。極楽寺があった当時、この辺りにも寺があったとされています。

◆**三村山極楽寺跡五輪塔** D1
極楽寺の奥の院ともいえる山際にあります。高さ3mで鎌倉後期の堂々たる作品です。忍性の後に任職に就いた頼玄の墓の石造りです。説もありません。市指定文化財。

◆**三村山不殺生界碑**指定文化財 B2
極楽寺帯を殺生禁断の地とするための結界石で、小田地区内に移された三基のうちの一つです。三村山不殺生界と大書され、建長五年(1253年)と碑年が刻まれています。

◆**石灯籠** A2
小田西町の長久寺の境内にあります。灯籠は、古くは参道中央に一基おき、灯をあげることが仏の供養の慣わしでした。鎌倉時代の石造灯籠は、鎌倉では戦乱により現存しないため、本灯籠は鎌倉時代のもので貴重です。かつて極楽寺にあったと推測されています。県指定文化財。



標高461m、市内では筑波山に次いで高い山です。6コースある登山道は、四季折々の自然を楽しめるよう整備され、休憩する場所も多く、日帰り登山しやすいと親しまれています。山頂からは、間近に筑波山を仰ぎ、関東平野を望みます。宝篋山の登山コースの詳細は、「宝篋山トレッキングマップ」をご覧ください。小田休憩所(C2)や小田城歴史ひろば案内所(A2)で手に入ります。

小田の歴史をたどる 石像、石碑、神社仏閣

◆**大師堂**たいしどう C1
前山の中腹には、八十八体の弘法大師の石像と御堂があります。すべての像を拜んでまわると、四国八十八ヶ所霊場を巡拝したのと同じ御利益があるといわれています。極楽寺があった当時、この辺りにも寺があったとされています。

◆**三村山極楽寺跡五輪塔** D1
極楽寺の奥の院ともいえる山際にあります。高さ3mで鎌倉後期の堂々たる作品です。忍性の後に任職に就いた頼玄の墓の石造りです。説もありません。市指定文化財。

◆**三村山不殺生界碑**指定文化財 B2
極楽寺帯を殺生禁断の地とするための結界石で、小田地区内に移された三基のうちの一つです。三村山不殺生界と大書され、建長五年(1253年)と碑年が刻まれています。

◆**石灯籠** A2
小田西町の長久寺の境内にあります。灯籠は、古くは参道中央に一基おき、灯をあげることが仏の供養の慣わしでした。鎌倉時代の石造灯籠は、鎌倉では戦乱により現存しないため、本灯籠は鎌倉時代のもので貴重です。かつて極楽寺にあったと推測されています。県指定文化財。

◆**大師堂**たいしどう C1
前山の中腹には、八十八体の弘法大師の石像と御堂があります。すべての像を拜んでまわると、四国八十八ヶ所霊場を巡拝したのと同じ御利益があるといわれています。極楽寺があった当時、この辺りにも寺があったとされています。

◆**三村山極楽寺跡五輪塔** D1
極楽寺の奥の院ともいえる山際にあります。高さ3mで鎌倉後期の堂々たる作品です。忍性の後に任職に就いた頼玄の墓の石造りです。説もありません。市指定文化財。

◆**三村山不殺生界碑**指定文化財 B2
極楽寺帯を殺生禁断の地とするための結界石で、小田地区内に移された三基のうちの一つです。三村山不殺生界と大書され、建長五年(1253年)と碑年が刻まれています。

◆**石灯籠** A2
小田西町の長久寺の境内にあります。灯籠は、古くは参道中央に一基おき、灯をあげることが仏の供養の慣わしでした。鎌倉時代の石造灯籠は、鎌倉では戦乱により現存しないため、本灯籠は鎌倉時代のもので貴重です。かつて極楽寺にあったと推測されています。県指定文化財。

◆**大師堂**たいしどう C1
前山の中腹には、八十八体の弘法大師の石像と御堂があります。すべての像を拜んでまわると、四国八十八ヶ所霊場を巡拝したのと同じ御利益があるといわれています。極楽寺があった当時、この辺りにも寺があったとされています。

◆**三村山極楽寺跡五輪塔** D1
極楽寺の奥の院ともいえる山際にあります。高さ3mで鎌倉後期の堂々たる作品です。忍性の後に任職に就いた頼玄の墓の石造りです。説もありません。市指定文化財。

◆**三村山不殺生界碑**指定文化財 B2
極楽寺帯を殺生禁断の地とするための結界石で、小田地区内に移された三基のうちの一つです。三村山不殺生界と大書され、建長五年(1253年)と碑年が刻まれています。

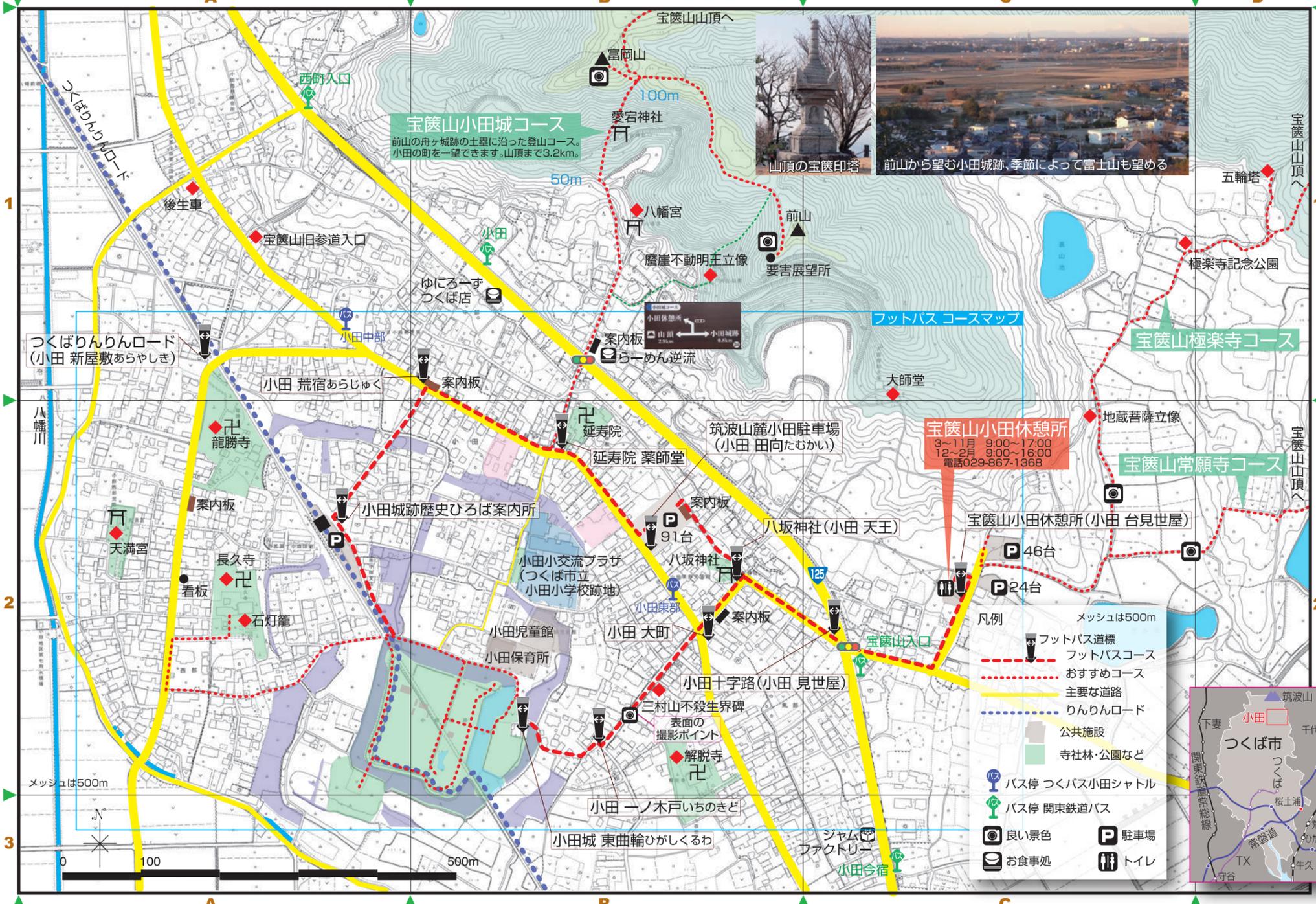
◆**石灯籠** A2
小田西町の長久寺の境内にあります。灯籠は、古くは参道中央に一基おき、灯をあげることが仏の供養の慣わしでした。鎌倉時代の石造灯籠は、鎌倉では戦乱により現存しないため、本灯籠は鎌倉時代のもので貴重です。かつて極楽寺にあったと推測されています。県指定文化財。

◆**大師堂**たいしどう C1
前山の中腹には、八十八体の弘法大師の石像と御堂があります。すべての像を拜んでまわると、四国八十八ヶ所霊場を巡拝したのと同じ御利益があるといわれています。極楽寺があった当時、この辺りにも寺があったとされています。

◆**三村山極楽寺跡五輪塔** D1
極楽寺の奥の院ともいえる山際にあります。高さ3mで鎌倉後期の堂々たる作品です。忍性の後に任職に就いた頼玄の墓の石造りです。説もありません。市指定文化財。

◆**三村山不殺生界碑**指定文化財 B2
極楽寺帯を殺生禁断の地とするための結界石で、小田地区内に移された三基のうちの一つです。三村山不殺生界と大書され、建長五年(1253年)と碑年が刻まれています。

◆**石灯籠** A2
小田西町の長久寺の境内にあります。灯籠は、古くは参道中央に一基おき、灯をあげることが仏の供養の慣わしでした。鎌倉時代の石造灯籠は、鎌倉では戦乱により現存しないため、本灯籠は鎌倉時代のもので貴重です。かつて極楽寺にあったと推測されています。県指定文化財。



富岡山から望む小田城跡

◆**八幡宮**はちまんぐう B1
かつては小田の北西にある甲山がもとやまにあり、江戸初期に移されたといわれています。

◆**龍勝寺**りゅうしょうじ A2
曹洞宗の寺。佐竹氏の家臣、梶原正景が在城の頃の再建とされています。山門は、江戸時代の作で、禅宗寺院にふさわしい八脚楼門です。

◆**長久寺**ちがゆきじ A2
真言宗の寺。室町時代に那珂で創立され、佐竹氏の家臣、小場義成が移したと伝えられます。鎌倉・室町時代の密教絵画を所蔵しています。

◆**天満宮**てんまんぐう A2
鳥居に江戸初期の刻銘があり、その頃に天満宮が移されたといわれます。

◆**解脱寺**げだつじ B2
浄土宗の寺。小田橋近くより廃城後に移されました。本尊の阿弥陀如来立像は室町末期の作で市指定文化財。

◆**八幡宮**はちまんぐう B1
かつては小田の北西にある甲山がもとやまにあり、江戸初期に移されたといわれています。

◆**龍勝寺**りゅうしょうじ A2
曹洞宗の寺。佐竹氏の家臣、梶原正景が在城の頃の再建とされています。山門は、江戸時代の作で、禅宗寺院にふさわしい八脚楼門です。

◆**長久寺**ちがゆきじ A2
真言宗の寺。室町時代に那珂で創立され、佐竹氏の家臣、小場義成が移したと伝えられます。鎌倉・室町時代の密教絵画を所蔵しています。

◆**天満宮**てんまんぐう A2
鳥居に江戸初期の刻銘があり、その頃に天満宮が移されたといわれます。

◆**解脱寺**げだつじ B2
浄土宗の寺。小田橋近くより廃城後に移されました。本尊の阿弥陀如来立像は室町末期の作で市指定文化財。